

■ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。

安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
- ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。










 この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です






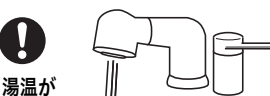


 この絵表示は、「分解禁止」の内容です










 この絵表示は、「接触禁止」の内容です

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

やけど、漏水をした場合の措置 **やけど** **漏水** やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。
漏水した場合は元栓、または止水栓を開めてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。
そして専門の業者に修理を依頼してください。

 禁止 給湯温度は85℃より高温で使 しないでください。 85℃より高温でご使用になると、 水栓の寿命が短くなり、破損して、 やけどをしたり、漏水で家財など を濡らす財産損害発生のおそれ があります。	 禁止 加工及び接合、市販浄水器具の 取り付け等の改造はしないでく ださい。 器具が破損し、やけど・けがをし たり、漏水で家財などを濡らす財 産損害発生のおそれがあります。	 禁止 小さいお子様だけの使用は避け てください。 やけど・けがをするおそれあり ます。
 禁止 配管などの解氷のため解氷機をご使 用の場合、水栓(給水・給湯管含む) には絶対に通電しないでください。 通電すると水栓や給水・給湯管が 発熱し、破損して家財などを濡らす 財産損害発生のおそれがあります。	 禁止 寒冷地仕様の場合 水抜きつまみは水抜き以外の目 的で開けないでください。 水抜きつまみをいきなり開けますと 高温の湯が出てやけどをしたり、湯 水が噴き出して、家財などを濡らす 財産損害発生のおそれがあります。	 分解禁止 分解は、保守・点検の決められた 項目以外はしないでください。 器具が破損し、やけど・けがをし たり、漏水で家財などを濡らす財 産損害発生のおそれがあります。
 接触禁止 器具の左側は熱くなっているた め直接肌を触れないでください。 給湯側のため高温になっており、 やけどをするおそれがあります。	 接触禁止 キャビネット内の湯側配管は熱 くなっているため直接肌を触れ ないでください。 給湯側のため高温になっており、 やけどをするおそれがあります。	 接触禁止 高温の湯をお使いときには器具 の左側は熱くなっているため直 接肌を触れない やけどをするおそれがあります。

 警告 湯水を使うときは、低温から少しず つ吐水させて適温にし、適温かどう かを確かめてから吐水してください。  適温かを確認 確かめないと高温の湯が出てや けどをするおそれがあります。 高温の湯を使用した後は、器具内に 高温の湯が残らないようにしばらく 水を流してから止水してください。  熱湯 水 次に使用する時、器具内に滞留 した高温の湯が出てやけどをす るおそれがあります。	 湯をお使いになるときは、必ずレ バーを水側にしてから開栓してく ださい。その後徐々に湯側を開栓 し、お好みの温度に調節してくだ さい。  湯側を先に開栓すると、高温 の湯が吐水して、やけどをす るおそれがあります。 お湯を使用した後で次に使用する 時、若干温度変化する場合があり ますので、しばらく吐水させて湯 温が安定してからお使いください。  湯温が 安定してから しばらく吐水させないと、やけど をするおそれがあります。	 レバーハンドルの位置で湯温を確 かめた後、吐水してください。  位置を確かめて 確かめないと高温の湯が出てや けどをするおそれがあります。
---	---	--

 注意 器具に乗ったり、よりかかったりし て無理な力を加えないでください。 シャワーヘッド先端に重いものを下げ たり力をかけて回さないでください。  禁止 器具が破損し、けがをしたり、漏 水し、家財などを濡らす財産損害 発生のおそれがあります。 シャワースタンドを上下にスライ ドする際は、スタンドの上部を持 ちゆくりと操作してください。  ゆくり 指をはさみけがをするおそれ があります。	 禁止 シャワースタンドの開口部へ直接 湯水をかけないでください。  禁止 漏水で家財などを濡らす財産損 害発生のおそれがあります。水受 けトレーの設置をしてください。 レバーハンドル操作の急閉止は、配 管からの漏水を起こすことがあり ますので、ゆくり操作してください。  ゆくり 急に閉めると「ドン」という音がして配 管に衝撃が加わり漏水で家財などを濡 らす財産損害発生のおそれがあります。	 禁止 めっき部品は、ぶつたり落とした りしないでください。また、鋭利な 物や硬い物を当てないでください。  禁止 めっきの表面が割れて、けがをす るおそれがあります。万一めっき の表面が割れた場合は、ただちに 新しい部品に交換してください。 凍結が予想される際は、一般地仕様をお使 いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を 巻くなどして、凍結を防止してください。 寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操 作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。  水抜きしない と凍結破損で漏 水し、家財などを濡らす財産損害 発生のおそれがあります。
---	--	---

●修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。
☎ 0120-474-161 ※携帯電話からは、**0574-55-1191**をご利用ください。

水栓の品番をご確認ください	修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています
水栓に貼ってある品番シールでご確認ください。シールの左下が品番です。 [シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください]	技術料 …診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用
●商品に関するお問い合わせはKVKお客様ご相談センターにご連絡ください。 ☎ 0570-099-552	部品代 …修理に使用した部品代 出張料 …製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

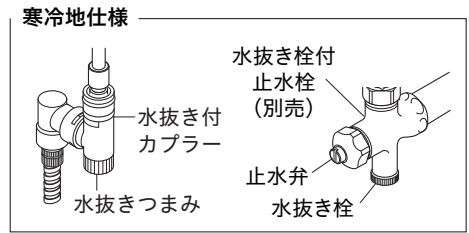
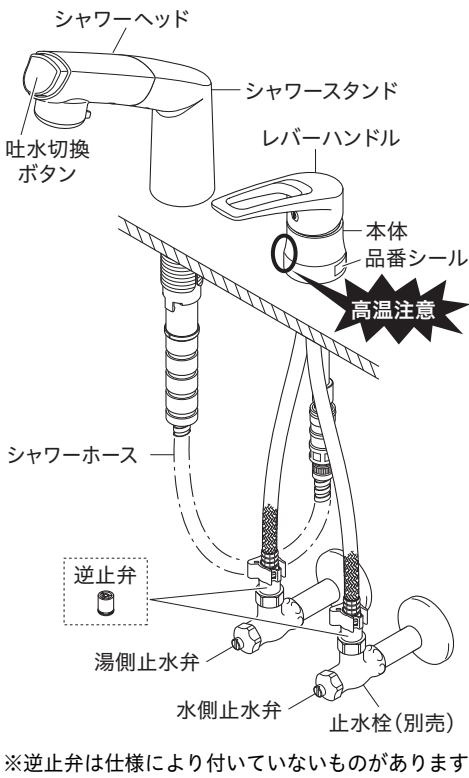
株式会社 KVK 本社・工場 / 〒501-1195岐阜市黒野308
インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

ご使用の前に / ご使用方法

給湯器の使用上のご注意

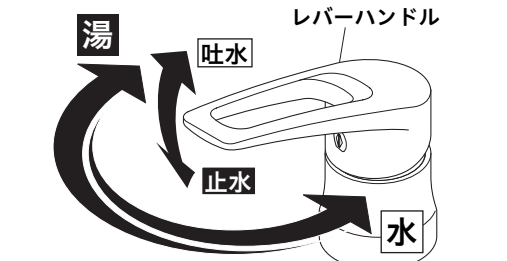
- ・給湯器の給湯温度は、安全のため60℃給湯をおすすめします。
- ・レバーハンドルは、できるだけ全開で使用してください。給湯器が着火しない場合があります。(瞬間型の場合)
- ・レバーハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水弁であらかじめ流量調節を行ってください。
(それでも給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合はレバーハンドルで調節を行ってください)

各部の名称



温度、出し止め、量の調節方法

レバーハンドルを右へ回すとぬるくなり、左へ回すと熱くなります。
レバーハンドルを上げると吐水、下いっぱいまで下げると止水します。上へ上げるほど流量が増します。

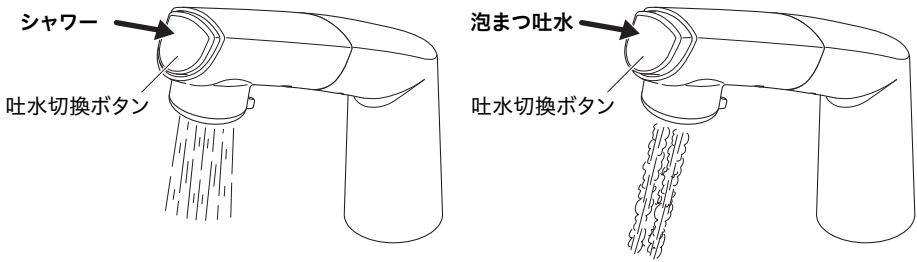


- 【 **警告** 】
湯水を使うときは、低温から少しずつ吐水させて適温にし、適温かどうかを確かめてから吐水してください。確かめないと、高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
- 【 **注意** 】
レバーハンドルは無理な力を加えずゆくりと操作してください。急な操作や無理な力での操作はウォーターハンマー(水撃)音が発生し、配管からの漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 【お願い】
水圧が高い場合、レバーハンドルで吐水量を絞った際に「キーン」という高い音がすることがあります。これは水圧が高いことによる振動音で故障ではありません。レバーハンドル全開の状態では吐水量が適量となるよう、キャビネット内の止水栓で調節してください。(日常の保守・お手入れ 流量の調節方法参照)



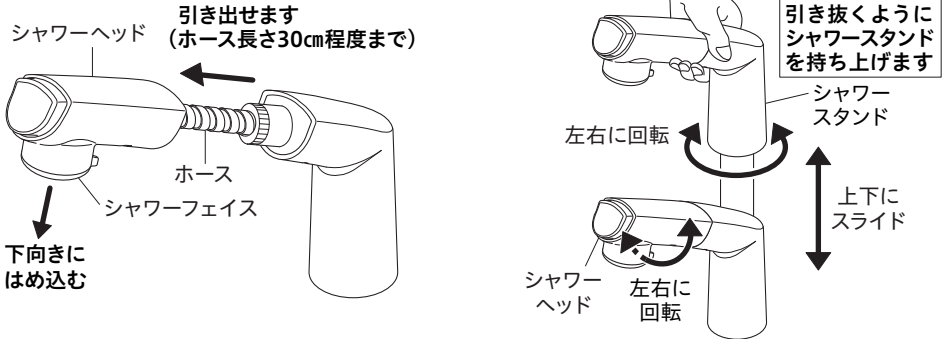
吐水の切換方法

吐水切換ボタンを押すとシャワー、泡まつ吐水の切換ができます。



シャワーヘッドの使用方法

シャワーヘッドは引き出して使えます。使用後はシャワーフェイスが下向きになるようにはめ込んでください。
シャワースタンドは上下にスライドし、左右にも回転します。シャワーヘッドは左右に回転します。



- 【 **注意** 】
シャワーヘッドを引き出しすぎないでください。ホースが戻しにくくなったり、ホース損傷により漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 【 **注意** 】
シャワースタンドを上下にスライドする際は、スタンドの上部を持ちゆくりと操作してください。指をはさみけがをするおそれがあります。
- 【 **注意** 】
シャワースタンドの開口部へ直接湯水をかけないでください。漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。水受けトレーの設置をしてください。
- 【 **注意** 】
シャワーヘッドやホースを水に浸けたまま放置しないでください。水が逆流するおそれがあります。

